

視 点

住職 堤 俊翁

お盆が過ぎてまた暑い日々が続いています。
地球の温暖化が急に進みはじめたのではないかと思うような気象の変化です。

今年地球環境に関する京都議定書が日本で批准されました。
今や人類の大きな課題です。その中で日本とは一体どういう国なのか考えるようになりました。非常に優秀で、精神的にも高度な文化をもっている日本人、環境問題でもおおきな役割を果たすことができると信じています。

宗教的にみれば、いかにも曖昧として諸外国から誤解も受けるような民俗習慣を持っています。宗教的にはとても寛容ですが、それがゆえにこれといった確固とした信念を持たないように見えます。

これから、日本という国を見つめ直したいと思っていますが、フランシスコザビエルは「日本人ほど善良なる性質を有する人種は、この世界に極めて稀である」いい、アインシュタインも世界の未来に対して「世界の未来は進むだけ進み、その間、幾度か戦いは繰り返されて、最後の戦いに疲れる時がくる。その時、人類はまことの平和を求めて、世界の盟主をあげねばならない。この世界の盟主となるものは、武力や金力ではなく、あらゆる国の歴史を抜き超えた、もっと古く、また、尊い家柄でなくてはならぬ。世界の文化は、アジアに始まって、アジアに帰る。そして、アジアの高峰、日本に立ち戻らねばならない。我々は神に感謝する。我々に日本という尊い国をつくっておいてくれたことを」と貴重なメッセージを残しているそうです。

この地球に生まれ育ったことを喜び合えるようになりたいものです。

篤く三宝を敬え 三宝とは仏、法、僧なり
仏.....いのちの親
法.....不可思議な力
僧.....仲間達

ホームページが新しくなりました。
どうぞ、みなさんで見てください。
<http://www.muryoji.net>

総本山 知恩院 浄土宗サイト

おまちしておりました。
無量寺へようこそ

香林山冷智院 無量寺

WIFI無量寺岡山

無量寺へいこう 法然上人も帰っています。

いろいろ無量寺 カルチャーセンター無量寺

くざり無量寺 人生のくざりの境目に無量寺があります。

生まれてよかったと思える人生のために。
〒690-0044 福開草久 姫路市本町8-4
浄土宗 香林山 冷智院 無量寺

おしょうアクセス <http://www.muryoji.net> サイト案内 3G/4Gインターネット サイトポリシー

一皿精進

Vegetarian Cooking

浄土宗『かるな』より抜粋

さつまグラタン

材 料

- さつま芋、、、中3個
- さつま隼人芋、、、中1個
- 種子島紫芋、、、中1個
- マカロニ、、、30g
- 小麦粉、、、適量
- パン粉、、、少量
- 豆乳、、、200cc
- マーガリン、、、少量
- 調味料、、、適宜

作り方

- 1.小麦粉、豆乳、マーガリンでホワイトソースを作り、塩、コショウで味を整える。
- 2.マカロニ、さつま芋、さつま隼人芋、種子島紫芋を茹でる。芋類はそれぞれサイの目に切る。
- 3.大きめのさつま芋を半分に切り、形を崩さないように中をくり抜く。
- 4.1.に2を加えよく絡ませ、3.のさつま芋の器に盛り付ける。
- 5.4.にパン粉をふりかけ、マーガリンをのせオーブンで焦げめがつく程度まで焼き上げる。



小消息(元祖法然上人の御垂誠であります)

末代の衆生を、往生極楽の機にあ

て、見るに、行すくなしとて疑ふべからず、一念十念に足ぬべし。罪人なりとて疑ふべからず、罪根深きも

も疑ふべからず、法滅以後の衆生なほもて往生すべし、況んや近來をや。我身わろしとて疑ふべからず、自身は

これ煩惱具足せる凡夫なりと宣給へり。十方に浄土おほけれど西方を願ふは十悪五逆の衆生の生るゝ故なり。諸

仏のなかに弥陀に歸したてまつるは、三念五念に至るまで自ら來迎し給ふ故なり。諸行の中に念佛を用るは、彼佛

の本願なる故なり。今弥陀の本願に乗じて往生しなんに、願として成ぜずといふことあるべからず。本願に乗ずる

ことは、信心の深きによるべし。うけがたき人身をうけて、あひがたき本願にあひて。おこしがたき道心を發し

て。離れがたき輪廻の里をはなれて、生れがたき浄土に往生せんこと、悦び

の中よるこびなり。罪は十悪五逆の者も生ると信じて少罪をも犯さじと思

べし、罪人なほ生る況んや善人を行は一念十念なほ空しからずと信じて無

間に修すべし、一念なほ生る況んや多念をや。阿彌陀佛は不取正覺の言を成就して、現に彼國にましませば定めて

を信じて、不退の浄土に生と悦び給らんと、天に仰ぎ地に臥して悦ぶべし、此のたゞ弥陀の本願にあふ事を。行住座臥にも報ずべし、かの佛の恩徳を。頼みてもたのむべきは乃至十念の詞、信じても猶信ずべきは心得往生の文也。

一枚起請文

唐土我が朝に。もろもろの智者達のさたし申さるる觀念のねんにもあらず、又學問をして念の心を悟りて申す念佛にもあらず。

ただ往生極楽のためには、南無阿彌陀佛と申して疑なく往生するぞとおもいとりて申す外には、別の仔細候はず。ただし三心四修と申すことの候は

皆決定して南無阿彌陀佛にて往生するぞとおもつうちにこもり候ふなり。この外に奥ふかきことを存せば二尊のあ

われみにはづれ本願にもれ候べし。念佛を信ぜん人は、たとい一代の法をよく

よく學すとも、一文不知の愚鈍の身になして、尼入道の無智のともがら

同じうして智者のふるまいをせずして、ただ一向に念佛すべし。

一紙小消息と一枚起請文
今ここで、般若心經・唯識三十頌・發願歸敬偈と重ねて両つ(一紙小消息と一枚起請文)を一つとしてさらに、こ

れらに元祖大師が念仏信仰の信を加えたものとして
唐土我が朝に。もろもろの智者達のさたし申さるる觀念のねんにもあらず、又學問をして念の心を悟りて申す念佛にもあらず。

ただ往生極楽の機にあてて見るに、行すくなしとて疑ふべからず、一念十念に足ぬべし、罪人なりとても

疑ふべからず、罪根深きもきらはじと宣給へり、時くだれりとも疑ふべからず、法滅以後の衆生なほもて往生すべし、況んや近來をや、我身わろし

とも疑ふべからず、自身はこれ煩惱具足せる凡夫なりと宣給へり。十方に浄土おほけれど西方を願ふは十悪五逆の衆生の生るゝ故なり、諸仏のなかに

弥陀に歸したてまつるは、三念五念に至るまで自ら來迎し給ふ故なり、諸行

の中に念佛を用るは彼佛の本願なる故なり、今弥陀の本願に乗じて往生しなんに願として成ぜずといふことあるべ

からず、本願に乗ずることは信心の深きによるべし、うけがたき人身をうけ

て、あひがたき本願にあひて、おこしがたき道心を發して離れがたき輪廻の

里をはなれて生れがたき浄土に往生せんこと悦びの中よるこびなり、罪は

十悪五逆の者も生ると信じて少罪をも犯さしと思べし、罪人なほ生る況んや

善人を行は一念十念なほ空しからずと信じて無間に修すべし、一念なほ

生る況んや多念をや、阿彌陀佛は不取正覺の言を成就して、現に彼國にま

ませば、定めて命終の時は來迎し給はん。釋尊は善哉我教に隨いて、生死を

離ると知見し給ひ、六方の諸佛は悦ばしき哉我證誠を信じて、不退の浄土に

生と悦び給らんと天に仰ぎ地に臥して悦ぶべし、此のたゞ弥陀の本願にあふ事を

の法をよくよく學すとも、一文不知の愚鈍の身になして、尼入道の無知のともがら同じうして智者のふるまいをせずして、ただ一向に念佛すべし。

この様に書いてみると勅伝の中に小消息を書かれた時の様子が伝えられている。誰への消息かということが大

切であるが、今回の意図する試案では、小消息が誰識と読めるのである。

煩惱具足・凡夫・十悪五逆・罪人なほ生る況んや善人をや等二辺を離れて救い

とる心は唯識以外のなにもでもないだろう。命終來迎と猶信必得往生は、

救つてくれることは間違いないのであるから、願往生の心を強く持ちなさい

ということをやと述べている。そうして一枚起請文をみると書き出しが否

定で始まるということは「迷うな」ということであり、小消息に重ねて往生

極楽は目的であり、救いであり、そして疑いを抱けば二尊のあわれみにはず

れ本願にもれるということ、迷うなを重ねてさらにただ一向の念仏行をす

べしとは、続けなさいと、念仏の継続・念仏者に念仏の行人になり切る、

つまり法然上人は念仏者として生きなさいと示しているのである。さてここで、考えて見たいのは

た仏は釈迦であるということ。釈迦が弥陀の心をあかすことは弥陀の本願である。ここに釈迦出世の本懐は弥陀の慈悲を世に示すことであり、弥陀の釈迦出世への慈悲心は、本願をあかさんと、念仏を興行させんと願いであり、同時に仏の慈悲心は、こぼれる・

あふれる救いの心である。故に皆成仏の悲願でもあろう。仏教から皆成仏の

道を見い出すと、今生の限られた寿命と能力の者は、あはれみに外れてしま

うことになる。ここに弥陀の釈迦を世に送る心は、念仏往生の本願のみ

の方をいただき、皆成仏をいただかなくということの大切さがある。

弥陀の働き(あり様)を見ると、ありてありあまりたるをあふれさせる、

枯渇することなき泉の如きである。ここにあまりたるに心を奪はれるも人の

心であらう。法然上人は、このこと「このほかに奥深き云々」つまり選択

の精神は単信にということであるう目的と去行と単信だけを示したと受け取

らせていただくべきであらう。

つづく

